仙台独自の料理、食材ＰＲへ「総選挙」

■市専用ＨＰから投票

〈宮城〉仙台生まれのうまいもの「伊達美味（だてうま）」の認知度を高めようと、仙台市は牛タン、笹かまぼこ、あおば餃子など16のメニューへの投票を募る「総選挙」を、11日から実施する。同市は、「投票形式による食のＰＲは全国でも初めてではないか」としている。

ＰＲ大使に仙台市出身のお笑いコンビ、サンドウィッチマンを起用。専用ホームページ（ＨＰ）では牛タンなどの定番グルメかそれ以外を推すかで対抗し合っている。

投票はＨＰでニックネームとメールアドレスを記載し、行う。１日１回限りだが、期間中は何回でも投票できる。はがきでも投票でき、何通でも可能。宛先は〒984―8545　仙台市若林区土樋103　ユーメディア内「伊達美味事務局」。投票期間は11日から８月31日まで。抽選で５、６、７、８月末に50人ずつ計200人に伊達美味セットをプレゼントする。投票で１位になったメニューは、投票後に作成するパンフレットの中心に紹介される。

初日の11日はＪＲ仙台駅前のペデストリアンデッキで奥州・仙台おもてなし集団、伊達武将隊がＰＲチラシを配布し、投票を呼びかける。

伊達美味は、仙台に根付いた独自の料理や食材を全国に売り込もうと企画。今回は16のメニューを選定した。市は、展開中の仙台・宮城デスティネーションキャンペーン（４月１日～６月30日）に合わせてスタートさせ、夏の仙台七夕まつりでも盛り上げるとしている。

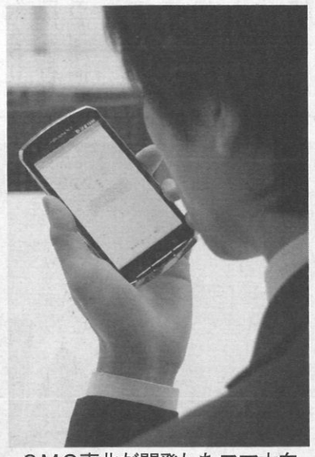
ＨＰは「http：／／www.dateuma.jp」。

気分の浮き沈み 声で判断

仙台・社団法人 音声アプリ運用

〈宮城〉東日本大震災の被災者への支援を行う仙台市青葉区の一般社団法人「パーソナルサポートセンター」は今月から、スマートフォン（高機能携帯電話）やタブレット端末に音声を入力するだけで気分の浮き沈みを判断できるアプリケーション（応用ソフト）の運用を始めた。被災者のつらい体験談に接する支援員の精神的な負担が深刻化しており、仮設訪問支援員のメンタルヘルスのケアに活用する。１カ月間の試験運用を経て、５月から本格運用する予定だ。

（高木克聡、写真も）



ＳＭＣ東北が開発したスマホ向けアプリ「こころコンパス」。音声を入力しただけで気分の浮き沈みがグラフ化される

導入されるのは、ＳＭＣ東北（同区）が開発した「こころコンパス」。アプリ上でいくつかの質問に答える形で音声を入力。音声の周波数などから、怒りや悲しみ、喜び、興奮などの感情を分析し、本人でも気づかない気分の浮き沈みをグラフ化する。事前に自分の声を登録する必要もなく、音声の内容は問わず、外国語でも分析可能。ＮＴＴドコモが、事業費４００万円を助成した。同センターの支援員約20人に対し、半年ごとに10人ずつ、１年間運用する。

同センターでは、市の緊急雇用対策事業で雇用した20～60代の支援員が６００～７００世帯の被災者を戸別訪問し、就労支援などの相談にあたっている。

被災者支援員の負担軽減に活用

支援員は、社会福祉の専門知識に関する研修など受けてはいるが、自身も被災者であるため、過度に感情移入してしまい、精神的な負担を抱え込みがちになるという。同センターの担当者は「職務に忠実であればあるほど、深みにはまってしまう」と話す。同センターでは、産業医によるカウンセリングなどで、支援員のケアにあたっていたが、心理的な負担が表面化した後の対処しかできず、約２年間の活動で、支援員の１割以上がカウンセリングなどのケアを必要とする状態に陥ってしまった。

アプリでは自覚症状のない感情の起伏も記録されるため、精神疾患の予防につながる自己管理が容易になる。同センターは「支援員の過度な負担を減らし、被災者の相談にも適切に対応できるようになる」と期待を高めている。

被災者の居住実態把握、一元管理

福島大が支

〈福島〉福島大学センターは、効率的「被災者支援管理システ」の居住実態を正確に把る見守りシステムで県内外に避難する被災

情報通信技術（ＩＣＴ）仮設住宅などを訪問し実態や障害・介護の状して、住民支援に役ゲーション（案内）を片手に訪問宅を巡

うだ。

警戒区域の再編で被れた富岡町にとって大きな課題となるため、継続的かつ効率的な支援

開発にあたった同大教授は「孤独死が生じ民の居住実態を把握し自治体以外でも効果か」と期待している。

杜の都も春本番

桜㊗開花

仙台管区気象台は９日、仙台市で標本木の桜（ソメイヨシノ）が開花したと発表した。３月以降の気温が比較的高かったことから、昨年より９日早く、平年より２日早い。

仙台市中心部の錦町公園では、さっそく花見を楽しむ親子連れの姿が見られた＝写真（地主明世撮影）。同市の主婦、斎藤まいさん（35）は「今年の冬は寒かったので、開花がいつも以上にうれしいです」と、２歳の長男を桜の下で遊ばせていた。

宮城県大河原町と柴田町の商工観光課によると、両町にまたがる白石川堤の一目千本桜や柴田町の船岡城址公園では、８日に開花宣言が出され、15日前後に見頃を迎えるという。

一方、東北各県の桜の名所では、福島市の花見山公園で早咲きのトウカイザクラが見頃だ。山形市の霞城公園は15日、岩手県の北上市立展勝地は21日、秋田県仙北市角館町の武家屋敷では25日頃に開花の見込み。青森県弘前市の弘前公園は平年より２日遅い30日という。

東北の桜の名所をＰＲする東北・夢の桜街道推進協議会は「東北各地への〝桜旅〟を通して、復興を応援してほしい」と話している。

東北６県　24年度の倒産14％減

東京商工リサーチが発表した東北６県の平成24年度の倒産件数（負債額１千万円以上）は、前年度比13・9％減の３５４件だった。４年連続の減少で、昭和42年度の統計開始以来２番目の低水準。負債総額は９・６％減の１２３９億円。

東日本大震災の復興需要のほか、中小企業金融円滑化法（返済猶予法）や震災関連の政策効果が倒産を抑制した。

業種別では、倒産件数の大きな割合を占める建設業が25・２％減、サービス業が40・０％減と、ともに大幅に減少した。

県別では秋田が41・８％増の78件で最多で、宮城77件（１・３％増）。残り４県はいずれも前年度より減り、山形58件（18・３％減）、福島50件（40・５％減）、青森49件（29・０％

自民、平野前復興相の支援見送り

各党、独自候補擁立へ

参院選

〈岩手〉平野達男前復興相（58）が民主を離党し無所属での参院選立候補を表明した問題で、自民党本部が９日、平野氏の支援を見送り、前慶大ラグビー監督、田中真一氏（46）の公認を決定したことで、夏の参院選は各党とも独自候補を擁立する色合いが濃くなった。

同日、参院選６連敗中の自民県連の千葉伝幹事長は「県連、党本部一丸で勝ち取る覚悟だ」、田中氏は「与えられた選挙区を全力で勝ち抜く」と談話を発表した。

一方、注目されていた民主、生活の連携では、民主県連の階猛代表が「まったく考えていない」と独自候補擁立の方向。生活の小沢一郎代表は「（民主と）柔軟に話し合いたい」としながら、今月中の独自候補擁立方針を変えていない。

このほか、共産、幸福が擁立決定。社民も擁立を検討しており、立候補は７人となる可能性がある。

宮城

東北総局
〒980-0803
仙台市青葉区国分町2-14-18
定禅寺パークビル3F
☎ 022・221・3321
FAX 022・216・1747
tohoku@sankei.co.jp

≪釜石駐在所≫
〒026-0002
岩手県釜石市大平町3-9-3
シーサイドレジデンス大平304号

青森支局
〒030-0861
青森市長島2-1-5
みどりやビル6F
☎ 017・722・4371
FAX 017・732・3015
aomori@sankei.co.jp

盛岡支局
〒020-0021
盛岡市中央通2-2-5
住友生命盛岡ビル9F
☎ 019・651・6333
FAX 019・629・1512
morioka@sankei.co.jp

秋田支局
〒010-0951
秋田市山王2-1-60
AIDEXビル3F
☎ 018・823・5454
FAX 018・888・1469
akita@sankei.co.jp

山形支局
〒990-0034
山形市東原町3-12-8
☎ 023・623・0241
FAX 023・628・3018
yamagata@sankei.co.jp

福島支局
〒960-8031
福島市栄町6-6
NBFユニックスビル7F
☎ 024・523・2387
FAX 024・525・2424
fukushima@sankei.co.jp